

令和7年度前期研究会計画公募のお知らせ

大阪大学核物理研究センター
センター長 中野 貴志

国際サブアトムック科学研究拠点である核物理研究センターは、国際的な展開につながる研究計画検討・共同利用の一環として、研究会の開催をサポートしております。この度、下記の要項で令和7年度前期の企画を公募いたします。

今回応募頂いた研究会企画については、原則として令和7年4月に行われる予定の研究計画検討専門委員会にて学問的な意義、開催時期などを考慮し、採否が決定されます。皆様方からの多くの企画の応募を歓迎致します。

記

研究会計画応募要領

下記の各項目について御記載下さい。

1) 研究会タイトル

※ HPやML等での案内のタイトルとなります。研究会の趣旨が分かるようにできるだけ端的に表して下さい。

2) 研究会のテーマと、その説明(400字程度)

3) 世話人全員の氏名・所属

連絡責任者の住所・電話番号・e-mailアドレス

※ 世話人は、一つの組織に集中することなく、複数の機関から幅広く構成されるようにご配慮ください。また、核物理研究センター教員を含めてください。

4) 希望予算額、使用内訳と額の根拠、他の資金・共催に関する情報

☆本公募によるRCNP予算の用途ならびに本公募からのサポートと研究会全体予算との関係がわかるように以下の項目に分けてご記載ください

4.1) RCNPに希望する予算額とその用途（費目と金額）

- ・旅費：費用・人数（ポスドク・学生の割合）
- ・会場費：
- ・その他（茶菓等）：

4.2) 主催か共催か・共催の場合は共催機関のリスト（申請中・申請予定のものも含める）

4.3) 各機関が分担する役割、負担金とその用途（申請中・申請予定のものも含める）

※本公募の審査では、若手へのサポートを優先します。

※会場費等、旅費以外の研究会費用についてもサポート対象です。ただし、サポートされるのは、大阪大学の会計ルール上、支出可能な経費に限られます。

※研究会参加者を幅広く支援するという本公募の趣旨に照らし合わせて、講師への謝金は原則不可とします。

※申請額は原則として上限50万円とします。

5) 研究会のスタイル・規模

※例：国際ワークショップ、国外20人、国内50人程度

6) 研究会開催場所

※核物理研究センターにおいて開催されることが原則ですが、他の場所での開催を妨げるものではありません。ただし、他の場所で開催する必要性をご記載下さい。

※採択課題には Zoom pro ライセンスを一つ供与します。世話人の打ち合わせ等にご活用ください。

7) 研究会開催予定日

※他の研究会等との重複を避けるために、調整をお願いする場合があります。

申込締切日：2025年3月31日

宛先：

大阪大学 核物理研究センター
センター長 中野 貴志 宛

email: director@rcnp.osaka-u.ac.jp

電子ファイルのみで受付いたします。Microsoft Word の文書ファイルもしくはPDFファイルを御添付下さい。

追記：

a) 採択された研究会はRCNPホームページ内にて公表します。

b) 研究会開催後に報告書の提出をお願いしております。報告書はRCNP Annual Report へ掲載いたしますので以下の項目を含んだ内容について報告いただきます。

公開する項目

1. Title (both in English for a domestic workshop/conference).
2. List of members of the organizing committee with full name
3. Period of workshop/conference (From mm /yy to mm/yy)
4. Venue

5. Description of the results (目的と成果、講演数などを含めて100-200words)

6-1. Numbers of participants from outside Japan

6-2. Number of domestic participants

7. URL of the webpage

8. URL and/or DOI of the (online) proceedings

非公開の項目

9. Amount of budget implemented (for internal use only)

-a break down of expenditures

-a fraction of RCNP contribution in the total budget

-a list of institutions and funds which supported the workshop